



平成17年7月5日

各 位

会 社 名 東洋製罐株式会社
代 表 者 名 取締役社長 三木 啓史
(コード番号 5901 東証・大証 第一部)
問 合 せ 先 取締役総務部長 清水 泰行
(TEL 03 - 3508 - 2113)

厚生年金基金の代行部分の返上に関するお知らせ

当社が有する東洋製罐厚生年金基金は、確定給付企業年金法の施行に伴い、厚生年金基金の代行部分について、平成17年7月1日付で厚生労働大臣から過去分返上の認可を受けました。

当社は、「退職給付会計に関する実務指針(中間報告)」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第13号)第44-2項を適用するため、代行部分過去分返上認可の日において、代行部分に係る退職給付債務を国への返還相当額(最低責任準備金)まで修正し、その差額を損益に計上します。また、代行部分に対応する未認識債務を一括償却します。

この結果、平成18年3月期の連結決算及び個別決算において、15,710百万円の特別利益を計上する見込みです。

なお、平成17年5月20日に公表しております平成18年3月期の連結決算及び個別決算にかかる業績予想の変更はありません。

以 上